



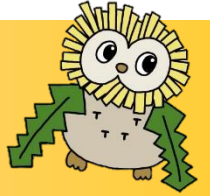
たんぽぽだより 6月号

発行日 令和7年6月13日

発行元：豊島区立池袋本町小学校

電話：03-3986-7166

住所：東京都豊島区池袋本町1丁目43番地1号



「読み」に苦手さのある子への支援について

特別支援教室 たんぽぽ

今月のたんぽぽだよりでは、「読み」に苦手さのある子の支援について紹介します。

読みに困難がある子供たちは、「文字を一つ一つ読むのに時間がかかる」「読んでも意味が理解しづらい」などの特性が見られます。その背景には、音と文字を結びつける力（音韻認識）の弱さや短期記憶の課題などが関係していることがあります。

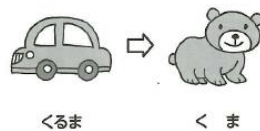
支援の一例としては、

- ・文字を強調する、行間を広く取るなど視覚的に見やすい工夫をする
 - ・文章を音読する際にリーディングスリッドを活用する
 - ・デジタル教科書を活用する
- などが考えられます。

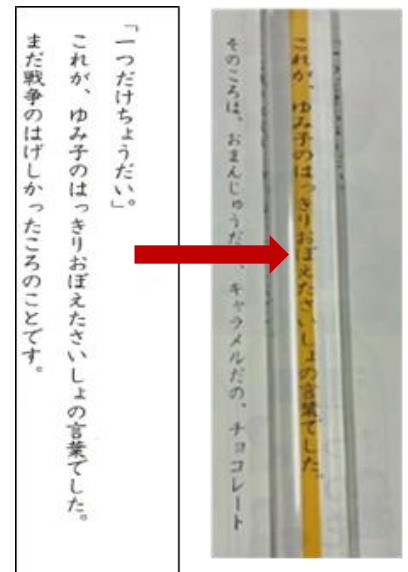
また、「読み」の土台となる音と文字を結びつける力（音韻認識）を育てるには、

- ・言葉あつめ（「あ」からはじまる言葉をたくさん探すなど）
- ・さかさ言葉（ぼぼんた→たんぽぽ・らりご→ごりら）
- ・抜き言葉（くるま→くま・ぱんだ→ぱん）
- ・しりとり

などの言葉遊びも効果的です。



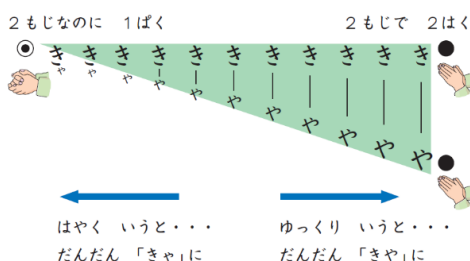
リーディングスリッドを使ってみると



出典：光村図書 4年上
「一つの花」より

読みの困難を抱える子供たちにとって、適切な理解と支援があることで、学びへの意欲や自信につながります。ご家庭でも「言葉遊び」などを通じて、「読み」の土台となる力を育てることができます。子供たちの小さな「できた!」を一緒に喜んでいただければと思います。

さんかくシート：だんだん「きや」が「きや」になるよ



つまずきやすい特殊音節（きや・っ・しゃ等）では、音のイメージを視覚化したり、動作化したりすることが効果的です。

出典・参照

- ・海津亜希子「多層指導モデル MIM 読みのアセスメント・指導パッケージ」学研
- ・LD 発達相談センターかながわ「ワーキングメモリとコミュニケーションの基礎を育てる聞きとりワークシート①」かもがわ出版